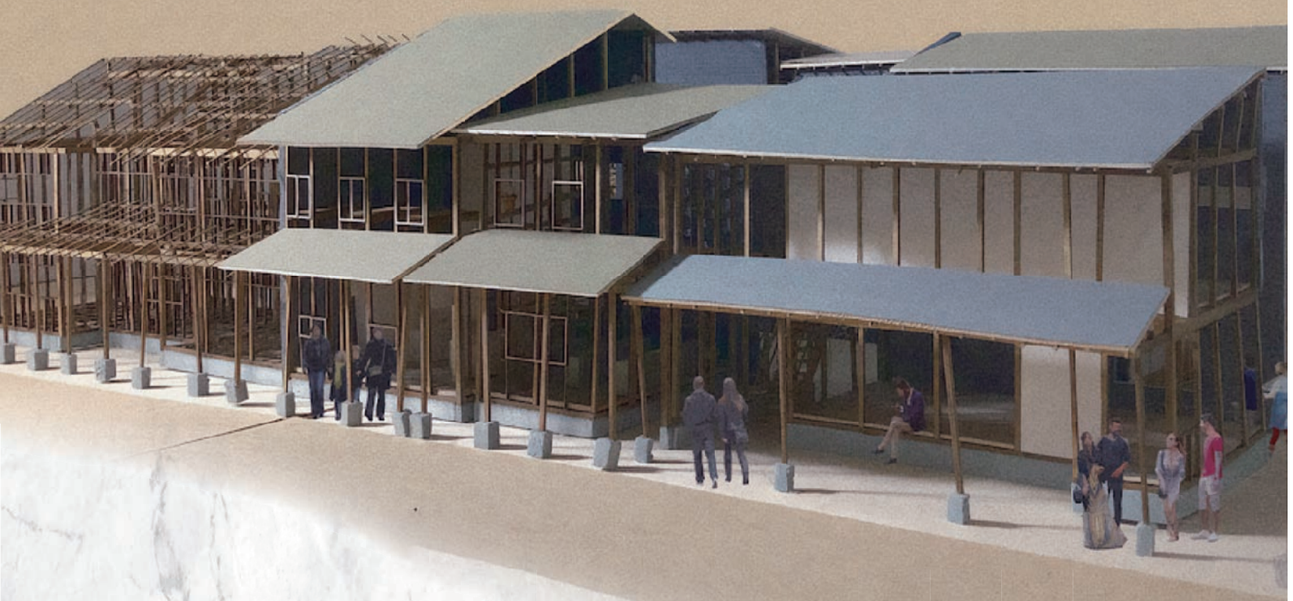
歴史的空間再編
コンペティション2022
第 11 回「学生のまち・金沢」設計グランプリ



Day1　11 月 19 日 (土)

● SNOU 企画　ミニ座談会
テーマ:『 歴代受賞者との対談 』
【 会場 】金沢学生のまち市民交流館・交流ホール
【 時間 】10:30~12:00
【 登壇者 】堀場 絵吏 氏 (第 4 回大会グランプリ)
申し込み・問い合わせ先
E-Mail:snou.gakusei@gmail.com
申し込みフォーム

● 2 次審査
【 会場 】金沢学生のまち市民交流館・学生の家
【 時間 】13:40~17:00
【 審査員 】西沢 立衛 氏 / 伊藤 亜紗 氏 / 金野 千恵 氏
塚本 由晴 氏 / 宮下 智裕 氏 / 松田 達 氏

Day2　11 月 20 日 (日)

●記念講演・トークセッション
テーマ:『 歴史的に振り返る with コロナ 』
【 会場 】金沢学生のまち市民交流館・交流ホール
【 時間 】10:00~12:00
【 登壇者 】西沢 立衛 氏 / 伊藤 亜紗 氏 / 金野 千恵 氏
【 モデレーター 】松田 達 氏

●ファイナルプレゼンテーション
【 会場 】金沢学生のまち市民交流館・交流ホール
【 時間 】13:00~18:00
【 審査員 】西沢 立衛 氏 / 伊藤 亜紗 氏 / 金野 千恵 氏
塚本 由晴 氏 / 宮下 智裕 氏 / 松田 達 氏
【 司会 】　林野 紀子 氏

背景画像: 昨年度グランプリ作品「つながりを育む-防災ファイバーによる木造密集地域の景観保存-」芝浦工業大学大学院 谷井美優 氏から提供

主催　歴史的空間再編学生コンペ実行委員会・金沢市

公式ホームページ　公式Twitter

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により内容を一部変更する可能性があります。

問い合わせ先: 金沢学生のまち市民交流館
〒920-0981
金沢市片町2丁目5-17
TEL:076-255-0162 FAX:076-255- 0164
E-MAIL:info@kanazawagakusei-compe.com

総合資格学院は1級建築士試験で「日本一」の合格実績!
総合資格学院
未来の自然を考える 国土開発センター
日本海コンサルタント
真柄建設
玉家建設
NAGASAKA ARCHITECT COMPANY Full Order Construction
髙機本清文堂 TAKAHIKO SEIBUNDO
株式会社 本田工務店
株式会社 兼六建設株式会社
ほそ川建設
みつぼ工業株式会社
Maple House
YAMASHIN INC.

(一社)石川県建築士会　(株)五井建築研究所　(株)ハヤシ創建　(公社)日本建築家協会北陸支部石川地域会　松井建設(株)　ヨシダ宣伝(株)

ポスター作成 SNOU

Students Network Originated at Hokuriku Union
本コンペは、金沢を盛り上げるべくして成立した、北陸地方で建築・デザインを学ぶ学生によって構成された学生団体が運営しています。

・審査員紹介

にしざわ　りゅうえ
西沢 立衛
西沢立衛建築設計事務所代表

略歴
1966 年　東京都生まれ
1990 年　妹島和世建築設計事務所入所
横浜国立大学大学院修士課程終了
1995 年　妹島和世と共に SANAA 設立
1997 年　西沢立衛建築設計事務所設立

主な受賞
日本建築学会賞、藝術文化勲章オフィシエ
村野藤吾賞、吉阪隆正賞、ペルリン芸術賞
プリツカー賞など

主な作品
金沢 21 世紀美術館 *、十和田市現代美術館、
ROLEX ラーニングセンター *、豊島美術館、
軽井沢千住博美術館、ルーヴル・ランス *、
浜松市美術館、ボッコー二大学新キャンパス *、
ラ・サマリテーヌ * など。
(* は SANAA として妹島和世との共同設計及び受賞)

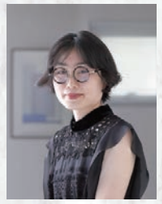
つかもと　よしはる
塚本 由晴
東京工業大学大学院教授
アトリエ・ワン

略歴
1965 年　神奈川県生まれ
1987 年　東京工業大学建築学科卒業
パリ・ベルビル建築大学
1994 年　東京工業大学大学院博士課程単位取得退学
1992 年　貝島桃代とアトリエ・ワン設立
2022 年　Wolf Award 受賞

貝島桃代と 1992 年にアトリエ・ワンの活動を始め、建築、公共空間、家具の設計、フィールドサーベイ、教育、美術展への出展、展覧会キュレーション、執筆など幅広い活動を展開。ふるまい学を提唱して、建築デザインのエコロジカルな転回を推進し、建築を産業の側から人々や地域に引き戻そうとしている。

近年の作品
ハハ・ハウス、尾道駅、恋する藤研究所
みやしたこうえん、BMW Guggenheim Lab、
Canal Swimmer ｆs Club、Search Library in Muharraq

主な著書
『 メイド・イン・トーキョー 』(鹿島出版会)
『 ペットアーキテクチャー・ガイドブック 』(ワールドフォトプレス)
『 図解アトリエ・ワン 』(TOTO 出版)
『 Behaviorology (Rizzoli New York)
『 WindowScape 』(フィルムアート社)
『 コモナリティーズ　ふるまいの生産 』(LIXIL 出版) など



いとう　あさ
伊藤 亜紗
美学者、東京工業大学科学技術創成
研究院 未来の人類研究センター長

略歴
東京工業大学科学技術創成研究院未来の人類研究センター長。
リベラルアーツ研究教育院教授。MIT 客員研究員 (2019)。
専門は美学、現代アート。
もともと生物学者を目指していたが、大学 3 年次より文転。
2010 年に東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻美学芸術学専門分野博士課程を単位取得のうえ退学。同年、博士号を取得 (文学)

主な著書
目の見えない人は世界をどう見ているのか 』(光文社)
『 どもる体 』(医学書院)
『 記憶する体 』(春秋社)
『 手の倫理 』(講談社)

主な受賞歴
WIRED Audi INNOVATION AWARD 2017
第 13 回 (池田晶子記念) わたくし、つまり Nobody 賞
第 42 回サントリー学芸賞受賞。

こんの　ちえ
金野 千恵
京都工芸繊維大学特任准教授
teco 主宰

略歴
1981 年　神奈川県生まれ
2005 年　東京工業大学工学部建築学科卒業
2005 年　スイス連邦工科大学奨学生
2011 年　東京工業大学大学院博士課程修了
博士 (工学) 取得
KONNO 設立
神戸芸術工科大学大学院 助手
2013 年　日本工業大学 生活環境デザイン学科 助教
2015 年　t e c o 主宰
2021 年　京都工芸繊維大学 特任准教授

主な作品
向陽ロッジアハウス、en(縁): art of nexus
幼・老・食の堂、ミノワ屋ガーデン、
カミヤトム凸凹保育園

主な著書
『 WindowScape 窓のふるまい学 』(2010 年、
フィルムアート社、共著: 塚本由晴、能作文徳、
編: 東京工業大学塚本由晴研究室)

みやした　ともひろ
宮下 智裕
金沢工業大学教授

略歴
1968 年　静岡県生まれ。
1991 年　芝浦工業大学建築学科卒業。
1993 年　芝浦工業大学大学院工学研究科修士課程 (建設工学専攻) 修了
1997 年　南カリフォルニア建築大学 (SCI-Arc) 大学院修士課程修了
1999 年　芝浦工業大学大学院博士課程工学研究科修了
2002 年　金沢工業大学環境・建築学部建築学科講師
2007 年　金沢工業大学環境・建築学部建築学科准教授

主な受賞
金沢市都市美文化賞　2009 アルミハウスプロジェクト
Low Carbon Life - design Award 2009「 環境大臣賞 」JATATA×KAYA
北米照明学会　IES ILLUMINATION AWARD2010
(社) アルミニウム協会賞「 期間賞 」アルミハウスプロジェクト
日本建築家協会環境建築賞 2010【 A-ring 】
第 11 回 JIA 環境建築賞入賞【 A-ring 】
第 4 回サスティナブル住宅賞 優秀賞【 A-ring 】
科学ジャーナリスト大賞 2018 【 世界を変えた書物展 】
主な著書
『 金沢らしさとは何か？ 』(北国新聞社 2015)
『 境界線から考える都市と建築 』(鹿島出版会 2017)
『 木で創る - その蓄積と展開 - 』(谷口吉郎・吉生記念金沢建築館 2022)

まつだ　たつ
松田 達
静岡文化芸術大学准教授
松田達建築設計事務所

略歴
1975 年　石川県生まれ。
1997 年　東京大学都市工学科卒業
1999 年　東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了
2001 年　横研首都建築都市設計事務所勤務
2002 年　文化庁派遣芸術家在外研修員としてパリにて研修
2005 年　パリ第 12 大学大学院パリ都市計画研究所 DEA 課程修了
2007 年　松田達建築設計事務所設立
2011 年　東京大学先端科学技術研究センター助教
2015 年　武蔵野大学工学部建築デザイン学科専任講師
2020 年　静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科建築・環境領域准教授

主な作品
『 リスボン建築トリエンナーレ日本棟国展 』会場構成
『 フラックスタウン・熱海 』(今村創平、大西正紀、田中元子と協働)
『 JAIST ギャラリー 』(林野紀子との共同設計)、他

受賞歴
第 16 回木材活用コンクール木質デザイン特別賞
第 42 回いしかわインテリアデザイン賞 2013 石川県知事賞
日本商環境デザイン協会 JCD デザインアワード 2013
BEST100 入選、日本空間デザイン協会DSA Design Award 2013空間デザイン賞、他

主な著書 (共著・共編著)
『 記号の海に浮かぶ < しま > (磯崎新建築論集 2) 』(岩波書店 2013)
『 ようこそ建築学科へ！ 建築的・学生生活のススメ 』(学芸出版社 2014)
『 建築系で生きよう。若い人に聴いて欲しい本音トーク 』(総合資格 2015)、他

・大会プログラム

Day1　11 月 19 日 (土)

SNOU 企画 **ミニ座談会**

テーマ:『 歴代受賞者との対談 』
【 概要 】
建築やまちづくりについて学ぶ地元学生を対象とし、学生と年代の近い近年の受賞者の建築家を招き、自身のこれまでの経験やまちづくりに対する思い、学生時代の取り組みが今に活かされていることなど、参加者と身近な視点から対談することにより、学生が学び・考える機会を設け、まちづくりに携わる未来の建築家を目指すきっかけを生み出す対談企画

【 会場 】金沢学生のまち市民交流館・交流ホール
【 時間 】10:30~12:00
【 登壇者 】堀場 絵吏 氏 (第 4 回大会グランプリ)

申し込み・問合わせ先
E-Mail:.snou.gakusei@gmail.com
申し込みフォーム

開会式
【 会場 】金沢学生のまち市民交流館・交流ホール
【 時間 】13:15~13:40

2 次審査
【 会場 】金沢学生のまち市民交流館・学生の家
【 時間 】13:40~17:00
【 審査員 】西沢 立衛 氏 / 伊藤 亜紗 氏 / 金野 千恵 氏
塚本 由晴 氏 / 宮下 智裕 氏 / 松田 達 氏

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により内容を一部変更する可能性があります。

Day2　11 月 20 日 (日)

記念講演・トークセッション

テーマ:『 歴史的に振り返る with コロナ 』
【 概要 】
コロナの世界的流行は、空間のあり方を大幅に変えていかざるを得なくなった。それに伴い建築や空間のデザインも大きく変わっていく。with コロナ社会における人に対する配慮と気遣いの連環をどのように空間のデザインとして今後求められるのだろうか。過去に流行した感染症の歴史を振り返ることでコロナの新しい見方を考えたい。

【 会場 】金沢学生のまち市民交流館・交流ホール
【 時間 】10:00~12:00
【 登壇者 】西沢 立衛 氏 / 伊藤 亜紗 氏 / 金野 千恵 氏
【 モデレーター 】松田 達 氏

ファイナル プレゼンテーション
【 会場 】金沢学生のまち市民交流館・交流ホール
【 時間 】13:00~18:00
【 審査員 】西沢 立衛 氏 / 伊藤 亜紗 氏 / 金野 千恵 氏
塚本 由晴 氏 / 宮下 智裕 氏 / 松田 達 氏
【 司会 】林野 紀子 氏

交流会
【 会場 】金沢学生のまち市民交流館・交流ホール
【 時間 】18:30~19:30

アクセス (金沢学生のまち市民交流館)
JR 金沢駅から【 バス 】を利用する場合
兼六園シャトルバス (毎日運行)
金沢駅東口バスターミナル 6 番乗り場から乗車後、
「 S3 香林坊 (アトリオ前) で下車 (乗車時間約 10 分)
【 平日 】200 円【 土 , 日 , 祝日 】100 円

まちバス (土・日・祝日のみ運行)
金沢駅東口バスターミナル 5 番乗り場から乗車後、
「 ⑤片町・タテマチ 」で下車 (乗車時間約 10 分)
大人 100 円

金沢学生のまち市民交流館

問い合わせ先: 金沢学生のまち市民交流館
〒920-0981
金沢市片町 2 丁目 5 － 1 7
TEL: 076-255-0162 FAX: 076-255-0164
E-mail: info@kanazawagakusei-compe.com

金澤町家を改修して 2012 年 9 月 29 日に開館した学生や市民活動の拠点です。金沢市の中心市街地にあり、近くには「 長町武家屋敷跡 」「 金沢 21 世紀美術館 」「 兼六園 」などたくさんの観光名所があります

Students Network Originated at Hokuriku Union
本コンペは、金沢を盛り上げるべくして成立した、北陸地方で建築・デザインを学ぶ学生によって構成された学生団体が運営しています。